

稲瀬PR作戦『空飛ばフードプロジェクト』

○エントリー団体

稲瀬町自治協議会

○コラボメンバー(役割分担)

株式会社フジドリームエアラインズ

：プロジェクトのきっかけづくり

豊山町・豊山町商工会

：販売・交流の場づくり

北上市地域づくり課:各主体をつなぐコーディネート



○事業への思い・解決したい課題

楽しく地域活動をしながら、稲瀬のファン・関係人口を増やし、持続可能な地域づくりを実現したい。そのために、特産品の PR 販売を通じてお客さんと交流するため、フジドリームエアラインズ(FDA)の航空便を活用し、中京圏での稲瀬地区や北上市の知名度向上と観光客の増加に向けた取り組みを行いました。

○コラボの経緯

稲瀬地区で何か新しい取り組みをするため、市の地域づくり課に相談したところ、他自治体で実施している空飛ばフードプロジェクトの紹介があり、扱っている農産物がとうもろこし(稲瀬の特産品と同じ)であることや、今まで行っていた軽トラ市で農産物の販売経験があること、飛行機を使うので話題性が大きく、住民の注目も集まると考え、実施に向けて動き始めました。

他県でこの活動を実施していたフジドリームエアラインズ(FDA)は、花巻空港と名古屋空港の定期航空便を運行していたので、稲瀬地区でも同様の取り組みができないか事業提案をしたところご快諾いただいたことから、地域住民や協力農家とも事業の情報共有を行い、令和5年度から実験的に実施することとなりました。

○具体的な取り組み内容

夏(7月)は稲瀬の特産品「稲瀬とうもろこし」を早朝2時～4時に収穫し、朝一の航空便を使って県営名古屋空港へ直送。名古屋空港近くにあるエアポートウォーク名古屋で PR 販売を実施し、稲瀬地区や FDA の PR を行いました。東北の農産物が珍しいことや朝採りのインパクト、FDA の集客効果により、販売開始から2時間足らずで約 400 本が完売しました。(令和6年は 480 本に増やしましたが、こちらも即売しました)

秋(10月)は豊山町産業まつりで稲瀬産銀河のしずくの PR 販売として新米の販売、詰め放題や重量当てゲームを実施。FDA を通じて名古屋食糧ともつながり、稲瀬産銀河のしずくを使ったおにぎりを販売することもできました。

○コラボの効果

FDA と連携することにより農産物等のスムーズな輸送ができただけでなく、FDA が豊山町や豊山町商工会と北上市、稲瀬地区との仲介を行い、自治体交流に結びつきました。また、飛行機を使うことで話題性があり、岩手だけでなく愛知の新聞等にも活動を取り上げていただき、県内外で稲瀬を大きく PR することができました。

さらに、豊山町とつながることで冬のみちのく芸能まつりに豊山町と FDA の共同出展が実現し、令和6年のみちのく芸能まつりへの豊山町長の来訪、令和6年度の秋の豊山町産業まつりの北上線 100 周年事業記念イベントの PR の実施等、稲瀬地区だけでなく北上市や西和賀町、横手市の PR にもつながりました。

この事業を通じて稲瀬地区内でも地域活動が活性化し、農産物のブランディングやこれからの地域づくりについて新たな動きが生まれました。

○今後の展開

今後、このプロジェクトをどう育てていくかを考え、より持続可能なかたちにしていきたいと考えています。また、稲瀬地区では現在、デザインコンテストを実施しており、この取り組みをきっかけに地域のブランディングにも力を入れていきたいと考えています。次年度は稲瀬地区でのモニターツアーも実施予定です。一緒に稲瀬地区を盛り上げてくれる人を募集しています。